



神納中だより

神納中学校第90号
平成22年9月28日発行

朝夕の涼しさが少し身に染みる時節となりましたが、保護者並びに地域の皆様におかれましてはますますご清栄のことと拝察いたします。また、日ごろから当校の教育活動にご理解とご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

さて、8月24日に2学期始業式を迎えてから、早1ヶ月が過ぎてしまいました。その間、体育祭、3年生高校体験入学、郡市駅伝大会、1年生稲刈り体験、2学期定期テスト、各種スポーツ大会など、様々な学習活動や体験活動が行われました。今回の神納中だよりでは、8月の下旬から9月にかけての主な教育活動等を御紹介いたします。

郡市「少年の主張会」奨励賞受賞 (H22. 8. 21)



〈大滝 さん：「少年の主張大会」H22. 8. 21〉

〈校内意見文発表会 H22. 8. 24〉

夏休み前に国語の授業で全校生徒が作文を書きました。「書く」力を高めるための学習で、1年生は体験文を、2年生は意見文を、3年生は主張文を書きました。その中から全校で5名の生徒が代表に選ばれ、夏休み中に発表の練習をして、8月24日の発表会に臨みました。5人の発表者はいずれの生徒も聞いている全校生徒の方に視線を向けながら堂々と発表することができました。

8月21日(土)に村上市教育情報センターで行われた「郡市少年の主張発表会」には、3年生の大滝 さんが当校を代表して出場し、奨励賞をいただきました。

以下に当校を代表して郡市主張大会に出場した大滝さんの主張文を掲載いたしますのでお読みください。

《 「少年の主張」校内発表会 出場者 》

- | | | |
|-------|----|--------------------|
| 1年生代表 | 佐藤 | 「おばあちゃんの死から気付いたこと」 |
| 2年生代表 | 三科 | 「彼女のように」 |
| 2年生代表 | 内山 | 「結果だけにこだわらないで」 |
| 3年生代表 | 中山 | 「バスケの良さ」 |
| 3年生代表 | 大滝 | 「本気で挑む」: |

文章による表現力・発表力が格段に向上しました。

【By：大滝優果（国語科主任）】

「本気で挑む」

3年1組 大滝

「僕は、ベスト四ではなく、優勝を目指していいと思います。」一人のサッカー選手がテレビカメラに向かって、そう語っていました。そのニュース番組を見たのは、今から約3ヶ月前、サッカーワールドカップの真っ最中のことでした。一戦目のカメルーンとの試合で日本は勝ち、そのことについて、キャスターが日本代表選手にインタビューしていました。その時、「ベスト4ではなく、優勝を目指す」と言ったのは、本田圭佑選手です。この言葉を聞いたとき、私は一瞬、「優勝は無理だろう」と思いました。世界

ランク46位の日本がワールドカップで優勝なんて、まさかそんなことできるわけがないと思ったのです。でも、その言葉が気になって、インタビューの映像を思い出しながら考えているうちに、彼の本気が伝わってきました。

実はその時、彼以外の選手は、「ベスト4目指してがんばります。」と答えていました。なぜなら、日本代表チームの目標がベスト4だったからです。しかし、本田選手だけは違ったのです。だから、一人だけ仲間と違うことを言っているということにびっくりしました。同時に、そんなに大きな目標を日本中の人たちに向かって言えるのはすごいと思いました。それからというもの、私は急激に本田選手のファンになり、ニュースやインタビューの記事などを興味を持って見るようになりました。

その後、日本の試合が中継されるたびに、私は、テレビに釘付けになり、夢中になって応援しました。その試合の中で、本田選手は他のどの選手よりも輝いて見えました。なぜ、彼が他の選手よりも輝いて見えたのでしょうか。彼の技術がずば抜けて優れている、とか、私が彼のファンだから、という理由だけではないと思います。きっと、本田選手をよく知らない人でも、あの彼のプレーには惹きつけられたと思うのです。積極的にボールをカットしに行く姿。フリーキックで一点決めた姿。蹴る直前にズームで映された本田選手の目から本気が伝わってきました。彼の言ったあの言葉、「ベスト4ではなく優勝を目指す」。そこに込められた熱い気持ちが、そのままプレーにも表れたのだと思います。

優勝なんて無謀なこと・無理なことだと笑った人もいたでしょう。でも、そんな周りの評価を気にせず、優勝を目指すと言明し、本気で挑む彼の姿は、他の誰よりも輝いて見えました。

ちょうどその頃、私はある目標に向かって頑張っていました。私は吹奏楽部で、一ヶ月後に迫ったコンクールで金賞をとることが目標でした。でも、100パーセントの本気で練習に取り組んでいなかったのです。というよりも、本気でやっているつもりだったけれど、まだどこかで力を抜いている自分がいました。私は、あの時の本田選手の言葉を聞かなかったら、きっと金賞の重みを十分にわかることができなかつたと思います。金賞を目指すからには、それ相応の努力をして本気で挑まなければいけないのです。本田選手の本気で挑む姿を見たとき、このままの中途半端な気持ちじゃ金賞なんて取れないし、金賞を目指す資格さえないと思いました。だから、残り一ヶ月を切ったからの休日の練習は、朝9時から午後3時までの一日練習を取り入れたり、家に帰ってからも曲を思い出しながら、自分のパートのイメージトレーニングをしたりして、気持ちを高めていきました。

結果は、銅賞でした。発表された瞬間、私は悔しい気持ちでいっぱいでした。でも、不思議と心残りがありませんでした。むしろ、満足感すらありました。それは、本気でやってきたからだだと思います。「負けたら悔しい」と感じるのは当たり前です。でも、本気で挑んだのなら、たとえ負けたり失敗したりしたとしても嬉しいと感じるのだと、その時気付きました。大会で負けて悔し涙を流すことも、反対に、大会で勝って嬉し涙を流すことも、それだけ本気で挑んだ証です。

コンクールが終わった今、私は、次の目標を探しています。高校に入ったら、吹奏楽を続けたい気持ちもあるし、新たに演劇をやりたいという気持ちもあって、正直迷っています。だから、これからよく考えて、自分が本気で打ち込めるものを見つけたいです。そして、本田選手のプレーを見て、彼の熱い気持ちが私に伝わってきたように、私の演奏や演技を見て、相手に私の熱い気持ちが伝わるように、私も本気で挑みます。

村上市（神林地区）総合防災訓練について(H22. 8. 29)

平成22年8月29日（日）に、神納中学校を会場として大規模な村上市総合防災訓練が行われました。午前8時55分に栗島沖、マグニチュード7.5、震度6弱の地震が発生したという想定で、市内一斉の避難勧告、住民避難訓練、避難所設営訓練、防災ヘリコプターによる被害調査、放水訓練、連携救助訓練、炊き出し訓練等が行われました。その訓練内容は、大きな自然災害に伴う様々な2次的な災害や事故を想定した、まさに総合防災訓練という名にふさわしいものでした。

住民避難訓練の際には、有明、小出、飯岡、桃川の各集落の方々が、続々と神納中学校のグラウンドに避難してこられました。そして多くの消防団、消防士、医師、看護師、自衛隊の方々が消火訓練、救助訓練、炊き出し訓練等に組織的に取り組み、いざというときの備えに万全を期す

〈全員の力を結集した綱引き〉



〈みんなで心をつなげた応援〉



第22回村上市岩船郡中学校駅伝大会の結果 (H22. 9. 17)

9月17日(金)、未明の雨にコースコンディションが心配がされる中、朝日駅伝コースで第22回村上市岩船郡中学校女子駅伝大会、第42回村上市岩船郡中学校男子駅伝競走大会が行われました。大きなスズメバチの巣があり女子の5区が例年のコースから変更になった点、男子の6区の選手が雨の中での競技になった以外は無事に大会を終える事ができました。

以下に神納中学校の結果をお知らせします。

◇男子総合 (17チーム参加) Aチーム4位

選手の皆さんの
走る姿は美しかった！
よく頑張りました

1区：八藤後

2区：河内

3区：横山

4区：近

5区：菅原

6区：鈴木

Bチーム11位

1区：尾方

2区：加藤

3区：本間

4区：小野

5区：加藤

6区：中山

※ 区間賞 1区：八藤後 4区：近 (新記録)

◇女子総合 Aチーム6位

1区：横山

2区：小田

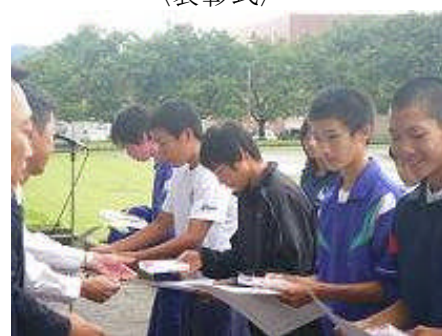
3区：佐藤

4区：大滝

5区：佐藤

※ 区間賞 4区：大滝

〈表彰式〉



〈開会式〉

(文責：村上市立神納中学校長 浪花健一)

